

2020年10月19日
日立オートモティブシステムズ株式会社
株式会社ケーヒン
株式会社ショーワ
日信工業株式会社

統合会社は、日立 Astemo（アステモ）へ
新商号および事業ブランドを決定

日立オートモティブシステムズ株式会社(プレジデント&CEO：プリス・コッホ／以下、日立オートモティブシステムズ)、株式会社ケーヒン(代表取締役社長：相田 圭一／以下、ケーヒン)、株式会社ショーワ(代表取締役社長：杉山 伸幸／以下、ショーワ)および日信工業株式会社(代表取締役社長：川口 泰／以下、日信工業)は、2019年10月30日付ニュースリリースでお知らせした通り、CASE分野においてグローバルで競争力のあるソリューションの開発・提供を強化するため、今年度中に経営統合を完了する予定です。

このたび、統合会社の商号を「日立 Astemo（アステモ）株式会社」と定めるとともに、事業ブランドの新設を決定しましたのでお知らせします。

統合会社は、事業規模の拡大と技術の強みにより、コア事業における技術・ソリューションの競争力を強化し、激変する市場環境に対応していきます。日立 Astemo は、安全性・快適性の向上や持続可能な環境に寄与するモビリティソリューションの提供を通じて、より良い社会の実現に貢献します。

1.新商号

日立 Astemo 株式会社
(英文表記：Hitachi Astemo, Ltd.)

現在、自動車・二輪車業界では100年に一度と言われる大変革時代に直面しており、環境負荷の低減や交通事故削減、快適性のさらなる向上等が求められる中、今後の自動車・二輪車システムの中核である電動化や自動運転、コネクテッドカー等の分野において、競争が激化しています。こうした中、サプライヤーにおいても製品の枠組みを超え、ソフトウェアを組み合わせた包括的なソリューションの提供が求められています。

統合会社は、ケーヒンのパワートレイン事業、ショーワのサスペンション事業及びステアリング事業、日信工業のブレーキシステム事業におけるそれぞれの優位な技術と、日立オートモティブシステムズがグローバルで有するパワートレインシステム、シャシーシステム、先進運転支援システムの3つのコア事業の強みを組み合わせることで、モビリティ業界において技術でリードする世界的規模のメガサプライヤーをめざします。

統合会社の商号においては、『先進的かつ持続可能な社会に貢献する技術を通じて、安全・快適で持続可能なモビリティライフを提供する』との企業の意志を明確に表現するため、「Advanced Sustainable Technologies for Mobility」の頭文字を繋げて Astemo(アステモ)としました。この新商号のもと、統合会社が提供していく価値は以下の通りです。

<Advanced Technologies>：先進的な技術

統合に関わる全ての会社の強みが融合し、時代の急激な変化に先駆けた、CASE 領域をはじめとするモビリティソリューションを提供。

<Sustainable Technologies>：持続可能な社会に貢献する技術

私たちの子どもや子孫、未来に緑豊かな地球と安全安心で心豊かな社会を残していく技術を発展。

<Mobility>：安全で快適なモビリティライフ

全ての人々がきれいな空気の中で笑顔で過ごすことができ、先進のモビリティで移動する喜びを感じられる社会、交通事故撲滅とともに安全・安心なモビリティ社会の実現に貢献。

2.事業ブランド

Astemo

新設する事業ブランドは、Astemo の文字から力強さと柔らかさの両方を感じられるようなデザインとしました。さらに、Advanced の A と Sustainable の S を一つの線でつなぎアクセントとすることで、各社が 1 つに繋がりを、先進的でサステナブルなモビリティを提供する Astemo が進む道を表しています。

なお、統合会社は日立グループの一員として日立ブランドを使用していきます。

このように、新商号や新たな事業ブランドを通じて、世界のモビリティ業界をけん引するグローバルメガサプライヤーとしての企業意志を強固なものとします。統合会社は、パワートレイン、シャシー、先進運転支援システムなどのコア事業における技術・ソリューションの競争力強化とともに、激変する市場環境に対応し、安全性・快適性の向上や持続可能な環境に寄与するソリューションの提供を通じて、より良い社会の実現に貢献していきます。

以上